



CCライセンス・DOAJの概要

2019年6月21日

情報基盤事業部



科学技術振興機構

本日の内容

1. はじめに

- 1) J-STAGEとオープンアクセス
- 2) J-STAGE掲載ジャーナルのオープンアクセス状況

2. CCライセンスについて

- 1) CCライセンスとは
- 2) CCライセンスの種類
- 3) CCライセンスの選択
- 4) CCライセンスと著作権
- 5) J-STAGEのCCライセンス対応
- 6) J-STAGEにおけるCCライセンス付与状況DOAJについて

3. DOAJについて

- 1) DOAJとは
- 2) DOAJ登場の背景
- 3) DOAJサイトの紹介
- 4) DOAJ収録について
 - ① DOAJ収録申請に求められる基本要件
 - ② 学術出版における透明性とベストプラクティスの原則
 - ③ DOAJ収録の申請

J-STAGEとオープンアクセス

科学技術情報発信・流通総合システム利用規約

(本サービス)

第1条

1. 機構は、本サービスとして、電子化された科学技術刊行物のJ-STAGEへの登載、国内外の電子ジャーナルサイト等との相互リンクの構築、及びこれらに関連・付随するサービスを提供することにより、我が国の科学技術刊行物の国内外への情報発信及び流通を促進し、また**オープンアクセスを推進すること(以下「本サービス目的」という。)**を目指す。

(定義)

第2条

(4) 「オープンアクセス」とは、インターネット上に論文等を無料公開し、二次的利用の範囲に関する**ライセンス情報を明記**することで、誰もが障壁なくアクセスできることをいう。

ブタペスト・オープンアクセス・イニシアティブ(BOAI)では、以下の通り定義している。

「公衆に開かれたインターネット上において、無料で利用可能であり、閲覧、ダウンロード、コピー、配布、印刷、検索、論文フルテキストへのリンク、インデクシングのためのクローリング、ソフトウェアヘデータとして取り込み、その他合法的目的のための利用が(中略)財政的、法的または技術的な障壁なしに誰もが許可されること」

(出典: <https://www.budapestopenaccessinitiative.org/boai-10-translations/japanese-translation-1>)

(利用申請)

第3条

(4) **オープンアクセスの実現に積極的に取り組めること**

※「**ライセンス情報**」とは、科学技術刊行物の記事に付されている利用条件を表す情報(**クリエイティブ・コモンズ・ライセンス等**)をいう[定義 第2条(11)]

2019年5月10日に追加

J-STAGE登載ジャーナルのオープンアクセス状況

- OAジャーナル: 2.3%
 - 無料でアクセスができる + **クリエイティブ・コモンズ・ライセンス(CCライセンス)**を明示しているジャーナル
- フリーアクセスジャーナル: 83%
 - 無料アクセスができるが、**CCライセンスを明示していない**ジャーナル
→CCライセンスを採用して二次利用の範囲・条件を明示することで、OAジャーナル移行が可能なジャーナル層

(2019年5月末時点)

	ジャーナル数	率
オープンアクセス(OA)ジャーナル	65	2.3%
フリーアクセスジャーナル	2,384	83%
認証ジャーナル	406	14.7%
合計	2,865	100%

CCライセンスとは

- 米国に本拠とする国際NPOであるCreative Commonsのプロジェクトおよびその提唱しているライセンス
- 日本ではCreative Commons Japan (CCJP) が推進母体
- CCライセンスの特徴
 - CCライセンスはインターネット時代のための新しい著作権ルール
 - 作品を公開する作者が「この条件を守れば私の作品を自由に使って構いません。」という意思表示をするためのツール
 - CCライセンスを利用することで、作者は著作権を保持したまま作品を自由に流通させることができ、ライセンス条件の範囲内で再配布やリミックスなどを行うことができる
 - 既存の著作権制度(All Rights Reserved)のなかで作り手の権利が守られながら、受け手にも作品を自由に扱う中間領域(Some Rights Reserved)を確保する
 - CCライセンスは、学術雑誌のOA化におけるライセンスとして、世界的にデファクト・スタンダードとなっている

(出典 : <http://creativecommons.jp/licenses/>)

CCライセンスの種類

■ 6種類のライセンス(最新バージョン:CC4.0)

クリエイティブ・コモンズ・ライセンス  表示 作品のクレジットを表示すること	 継承 元の作品と同じ組み合わせのCCライセンスで公開すること	 改変禁止 元の作品を改変しないこと	
 表示 作品のクレジットを表示すること	 CC BY 表示	 CC BY-SA 表示—継承	 CC BY-ND 表示—改変禁止
 非営利 営利目的での利用をしないこと	 CC BY-NC 表示—非営利	 CC BY-NC-SA 表示—非営利—継承	 CC BY-NC-ND 表示—非営利—改変禁止

クリエイティブ・コモンズ作者のクレジットを表記することを求める CC BY をベースとして、非営利 (NC)、継承 (SA)、改変禁止 (ND) を組み合わせた 6 種類のライセンスが存在する。

(出典: 情報管理 2015 vol.58 no.5 p.344.「日本におけるクリエイティブ・コモンズ・ライセンスの実際」)

CC BY: 原作者のクレジット(氏名、作品タイトルなど)を表示することを主な条件とし、改変はもちろん、営利目的での二次利用も許可される最も自由度が高いCCライセンス

CC BY-SA: 原作者のクレジット(氏名、作品タイトルなど)を表示し、改変した場合には元の作品と同じCCライセンス(このライセンス)で公開することを主な条件に、営利目的での二次利用も許可されるCCライセンス

CC BY-ND: 原作者のクレジット(氏名、作品タイトルなど)を表示し、かつ元の作品を改変しないことを主な条件に、営利目的での利用(転載、コピー、共有)が行えるCCライセンス。

CC BY-NC: 原作者のクレジット(氏名、作品タイトルなど)を表示し、かつ非営利目的であることを主な条件に、改変したり再配布したりすることができるCCライセンス。

CC BY-NC-SA: 原作者のクレジット(氏名、作品タイトルなど)を表示し、かつ非営利目的に限り、また改変を行った際には元の作品と同じ組み合わせのCCライセンスで公開することを主な条件に、改変したり再配布したりすることができるCCライセンス。

CC BY-NC-ND: 原作者のクレジット(氏名、作品タイトルなど)を表示し、かつ非営利目的であり、そして元の作品を改変しないことを主な条件に、作品を自由に再配布できるCCライセンス。

(出典: <https://creativecommons.jp/licenses/>)

CCライセンスの選定

- ジャーナルの事情にあったライセンスを6つのCCライセンスから選定
 - 選定前の検討事項
 - 著作権収入の現状は？ 著作権管理団体との契約は？ 図表等の転載許諾は？
 - 助成機関のCCライセンスの適用方針に適合するかどうか
 - 記事毎に異なるCCライセンスの付与が可能
 - 記事に付与したCCライセンスの変更は不可
 - CCライセンスの取得
 - CCJPへの許可申請や届け出は不要

※CCライセンスの選定後は、J-STAGEでのCCライセンスの設定と全文PDFへのCCライセンス表示をお願いします。

CCライセンスと著作権

- CCライセンスを導入した場合、投稿規定に適用したCCライセンスと著作権の帰属を明示
 - 著作権の帰属について
 - 1) 従来通り学会が保持する場合
 - 著者は学会に著作権譲渡合意書(Copyright Transfer Form)等で著作権を譲渡する
 - 著者は適用CCライセンスについて同意する
 - 2) 著者が著作権を保持し、学会に出版等をライセンスする場合
 - 「License to Publish」などのフォームでライセンス
 - 出版の他に、複写、再配布、改変等をライセンス
 - 適用CCライセンスを決定

いずれのスキームが優れているというものではない。この問題は、**研究論文の利活用を著者と学会いずれが主導して、あるいは責任をもって行っていくのか**、という点に帰結する

(出典: 情報管理 2016 vol.59 no.7 p.437.「オープンアクセスとクリエイティブ・コモンズ採用における注意点」)

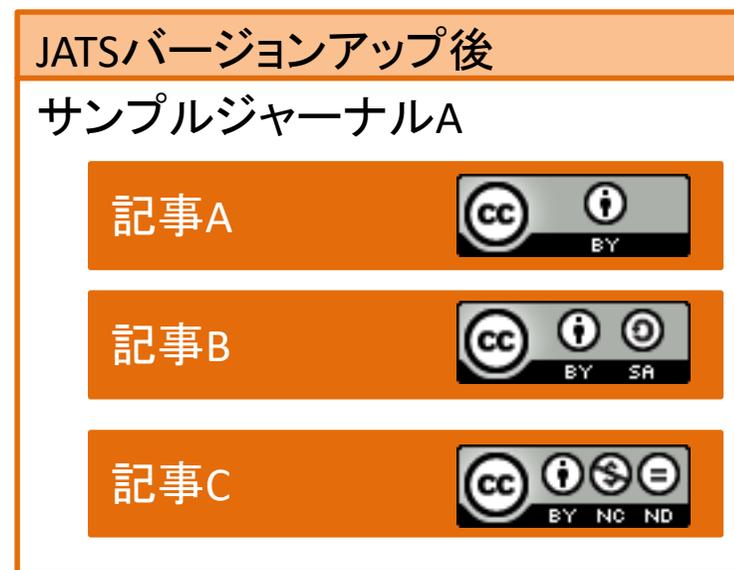
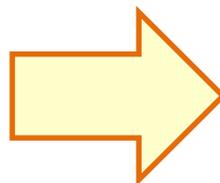
【参考】J-STAGEオープンアクセス誌における著作権帰属の状況(2018年3月時点)

CCライセンス	著者	学会
CC BY(16誌)	13誌	3誌
CC BY-NC(8誌) ※帰属不明1誌	1誌	6誌
CC BY-NC-ND(17誌)	1誌	16誌
CC BY-NC-SA(4誌)		4誌
合計	15誌(34%)	29誌(66%)

J-STAGEのCCライセンス対応

◆ 記事単位のCCライセンス設定

- ・JATSバージョンアップ(2019年3月24日リリース)によって、資料単位の同一CCライセンス設定から**記事単位**で個別に設定が可能。



JATSバージョンアップ以前にも、CCライセンスのテキスト情報を著作権欄に記述することで、記事単位でCCライセンス情報の表示が可能でしたが、CCライセンスマークは表示できませんでした。今回のバージョンアップで、このような特別処理が不要になりましたので、この機会に、新しい設定方法への移行と過去分の再設定をお願いします。

※CCライセンスの詳細な設定方法は、以下の資料をご参照ください。

【J-STAGE CCライセンス設定手順書】

https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub_creativecommons_licenses_SettingManual.pdf

J-STAGEのCCライセンス対応

◆ 画面表示情報の追加

1) 著作権情報との併記

JATSバージョンアップ以前: CCライセンスを設定した場合、copyright等の著作権情報の表示は不可

JATSバージョンアップ後: **CCライセンスと著作権情報の併記が可能**

2) ライセンス関連情報表示

ライセンス記述、ライセンスURLを表示

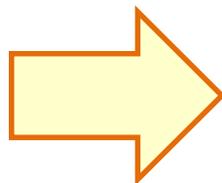
画面イメージ

JATSバージョンアップ前

サンプル記事A

抄録

引用文献



JATSバージョンアップ後

サンプル記事A

抄録

引用文献

著作権情報

©2018 Japan Science and Technology Agency



この記事はクリエイティブ・コモンズ [表示 4.0 国際] ライセンスの下に提供されています。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

ライセンス記述
ライセンスURL

J-STAGEにおけるCCライセンス付与状況

CCライセンス表示ジャーナル: 53学会、65誌(2019年5月末時点)

CC BY:20誌

発行機関名	資料名	CCLマーク
グローバルビジネスリサーチセンター	Annals of Business Administrative Science	CC BY
デジタルアーカイブ学会	デジタルアーカイブ学会誌	CC BY
ホソカワ粉体工学振興財団	ホソカワ粉体工学振興財団年報	CC BY
ホソカワ粉体工学振興財団	KONA Powder and Particle Journal	CC BY
ホソカワミクロン株式会社	粉砕	CC BY
順天堂医学会	順天堂醫事雑誌	CC BY
情報計算化学生物学会(CBI学会)	Chem-Bio Informatics Journal	CC BY
水文・水資源学会／日本地下水学会 ／日本水文科学会／陸水物理研究会	Hydrological Research Letters	CC BY
地理科学学会	地理科学	CC BY
東京女子医科大学学会	東京女子医科大学雑誌	CC BY
東京女子医科大学学会	Tokyo Women's Medical University Journal	CC BY
藤田学園医学会	Fujita Medical Journal	CC BY
日本疫学会	Journal of Epidemiology	CC BY
日本気象学会	Journal of the Meteorological Society of Japan. Ser. II	CC BY
日本気象学会	SOLA	CC BY
日本原生生物学会	Journal of Protistology	CC BY
日本細胞生物学会	Cell Structure and Function	CC BY
日本地震学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、特定非営利活動法人 日本火山学会、日本測地学会、日本惑星科学会	Earth, Planets and Space	CC BY
日本表面真空学会	e-Journal of Surface Science and Nanotechnology	CC BY
Eastern Asia Society for Transportation Studies	Asian Transport Studies	CC BY

CC BY-SA:1誌

発行機関名	資料名	CCLマーク
日本デジタル・ヒューマニティーズ学会	デジタル・ヒューマニティーズ	CC BY-SA

CC BY-NC:10誌

発行機関名	資料名	CCLマーク
横断型基幹科学技術研究団体連合	横幹	CC BY-NC
国公私立大学図書館協力委員会	大学図書館研究	CC BY-NC
日本心臓血管内視鏡学会	心臓血管内視鏡	CC BY-NC
日本内分泌外科学会・日本甲状腺外科学会	日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌	CC BY-NC
日本応用糖質科学会	Journal of Applied Glycoscience	CC BY-NC
日本質量分析学会	Mass Spectrometry	CC BY-NC
日本消化器外科学会	日本消化器外科学会雑誌	CC BY-NC
日本表面真空学会	表面と真空	CC BY-NC
日本表面科学会	表面科学	CC BY-NC
兵庫県立大学	Japan Social Innovation Journal	CC BY-NC

CC BY-NC-SA:5誌

発行機関名	資料名	CCLマーク
Annals of Vascular Diseases 編集委員会	Annals of Vascular Diseases	CC BY-NC-SA
日本核医学会	核医学	CC BY-NC-SA
日本血管外科学会	日本血管外科学会雑誌	CC BY-NC-SA
日本生物物理学会	Biophysics and Physicobiology	CC BY-NC-SA
日本動脈硬化化学会	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis	CC BY-NC-SA

※太字・斜体:DOAJ登録誌

J-STAGEにおけるCCライセンス付与状況(続き)

CCライセンス表示ジャーナル: 53学会、65誌(2019年5月末時点)

CC BY-NC-ND: 26誌

複数ライセンス付与: 3誌

発行機関名	資料名	CCLマーク
Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery 編集委員会	Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	CC BY-NC-ND
BMFH出版会	Bioscience of Microbiota, Food and Health	CC BY-NC-ND
外国語教育評価学会	外国語教育評価学会研究紀要	CC BY-NC-ND
核医学症例検討会事務局	Japanese Archive of cases conference of clinical nuclear medicine	CC BY-NC-ND
日本移植学会	移植	CC BY-NC-ND
日本ウマ科学会	Journal of Equine Science	CC BY-NC-ND
日本言語テスト学会	日本言語テスト学会研究紀要	CC BY-NC-ND
日本言語テスト学会	日本言語テスト学会誌	CC BY-NC-ND
日本航海学会	日本航海学会論文集	CC BY-NC-ND
日本航海学会	日本航海学会誌 NAVIGATION	CC BY-NC-ND
日本航海学会	Transactions of Navigation	CC BY-NC-ND
日本獣医学会	Journal of Veterinary Medical Science	CC BY-NC-ND
日本静脈学会	静脈学	CC BY-NC-ND
日本脊椎脊髄病学会	Spine Surgery and Related Research	CC BY-NC-ND
日本大腸肛門病学会	Journal of the Anus, Rectum and Colon	CC BY-NC-ND
日本体力医学会	The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine	CC BY-NC-ND
日本体力医学会	体力科学	CC BY-NC-ND
日本脳神経外科学会	Neurologia medico-chirurgica	CC BY-NC-ND
日本脳神経外科学会	NMC Case Report Journal	CC BY-NC-ND
日本脳神経血管内治療学会	Journal of Neuroendovascular Therapy	CC BY-NC-ND
日本脳神経血管内治療学会	脳血管内治療	CC BY-NC-ND
日本福祉のまちづくり学会	福祉のまちづくり研究	CC BY-NC-ND
日本平滑筋学会	日本平滑筋学会雑誌	CC BY-NC-ND
日本平滑筋学会	Journal of smooth muscle research Japanese section	CC BY-NC-ND
日本脈管学会	脈管学	CC BY-NC-ND
理学療法科学学会	Journal of Physical Therapy Science	CC BY-NC-ND

発行機関名	資料名	CCLマーク
日本繁殖生物学会	Journal of Reproduction and Development	CC BY CC BY-NC-ND
日本産業衛生学会	Journal of Occupational Health	CC BY-NC CC BY-NC-ND
日本平滑筋学会	Journal of Smooth Muscle Research	CC BY-NC CC BY-NC-ND

※太字・斜体: DOAJ登録誌

J-STAGEにおけるCCライセンス付与状況(続き)

過去3年のCCライセンス内訳の推移とDOAJとの比較

CCライセンス	2017年2月	2018年3月	2019年5月	DOAJ (2019年5月末)
CC BY	5 (26%)	16 (36%)	20 (31%)	41%
CC BY-SA	0	0	1 (1%)	6%
CC BY-NC	2 (10%)	8 (18%)	10 (15%)	19%
CC BY-ND	0	0	0	1%
CC BY-NC-SA	4 (21%)	4 (9%)	5 (8%)	8%
CC BY-NC-ND	8 (42%)	17 (38%)	26 (40%)	22%
複数ライセンス付与	0	0	3 (5%)	
出版社独自ライセンス	—	—	—	3%
合計	19	45	65	(13,309)

◆DOAJとの比較

- ・CC BYの率が低い
- ・CC BY-NC-NDの率が高い
- ・CC BY-NC、CC BY-NC-SAはほぼ同率

DOAJ(Directory of Open Access Journals)について

■ DOAJとは

- Infrastructure Services for Open Access (IS4OA)が運営するOAジャーナルのオンライン・ディレクトリ・サービス
- 特定の言語や地域(現在、130か国)によらず国際的に認知されたオンラインジャーナルの基準を満たす、高品質、査読有りの学術ジャーナル及びその記事のメタデータを収録
- 収録ジャーナルの認知度、アクセシビリティ、評判、利用を高めることが目的
- 収録申請、コンテンツの検索は無料、サービスを利用するための登録は不要

(2019年5月末時点)

収録数	うち、 出版国＝日本	うち、 J-STAGE登載誌
13,309 誌 4,021,545記事	31誌	11誌

DOAJ登場の背景

■ ハゲタカジャーナル問題

- 掲載料(APC)目当ての悪質性の高いOAジャーナル
 - 編集体制、査読の実施・期間など不透明な点が多い
- 毎日新聞、2018年9月3日
 - 「粗悪学術誌 論文投稿、日本5000本超 業績水増しか」
- 柴山文部科学相の記者会見、2018年12月25日
 - 論文投稿について慎重に検討するように大学に研究者教育や注意喚起を要求
- 各大学でハゲタカジャーナル投稿防止に関する取組を開始
 - いくつかの大学で注意喚起の文書を発表



- ## ■ DOAJは、ハゲタカジャーナルではないOAジャーナルを証明する”ホワイトリスト“
- 国内のいくつかの大学は、投稿前のチェックリストとして、DOAJを出版倫理委員会(COPE)、OA学術出版社協会(OASPA)と共に推奨
 - cOAlition Sは、Plan Sガイダンス改訂版でDOAJをパートナーとして明記
 - Web of Science、ScopusはDOAJ収録誌をゴールドOAと認定

DOAJサイト(Home)

DOAJ DIRECTORY OF OPEN ACCESS JOURNALS

SUPPORT DOAJ

Home Search Browse Subjects **Apply** News About For Publishers API

DOAJ収録申請ページへ

Search DOAJ

journals articles

[\[Advanced Search\]](#)

13,309 Journals
10,327 searchable at Article level
130 Countries
4,021,545 Articles

言語を選択

FAQs

OAI-PMH, XML, Widgets

Open Access Resources

Transparency & Best Practice

Download metadata

Journals Added/Removed

New Journals Feed

収録状況

DOAJ (Directory of Open Access Journals)

DOAJ is a community-curated online directory that indexes and provides access to high quality, open access, peer-reviewed journals. DOAJ is independent. All funding is via donations, 40% of which comes from [sponsors](#) and 60% from [members and publisher members](#). All DOAJ services are free of charge including being indexed in DOAJ. All data is freely available.

DOAJ operates an education and outreach program across the globe, focussing on improving the quality of applications submitted.

[Why index your journal in DOAJ?](#)

Latest News

DOAJ reaches its SCOSS funding target within 18 months and sets its sights on new work

(Repost from the SCOSS website.) We are delighted to announce that the Directory of Open Access Journals (DOAJ) has reached its funding target to cover its operational costs as were outlined in its SCOSS application. Eight consortia and 175 institutions/organisations from 18 different countries have committed support to DOAJ. "We'd like to thank our supporters. [...] [Read More...](#)

Published Mon, 20 May 2019 at 11:17

DOAJ's open letter to SSHA communities about Plan S

The recently published Royal Historical Society (RHS) working paper on Plan S contains some errors about the role that DOAJ might play in Plan S certification. These misunderstandings are commonplace and we, the DOAJ Management Team, have seen them before in other responses to Plan S. They are disappointing but they are not surprising. The [...] [Read More...](#)

Published Thu, 16 May 2019 at 07:15

Article uploads: the importance of an ISSN

This is a reminder that in February this year we tightened up procedures for article uploads. This includes checks that are carried out on uploads particularly ISSN, DOI, and full text URL information. This means that, whether uploading article XML to us or JSON via the API, the metadata must include the exact same ISSN [...] [Read More...](#)

Published Wed, 15 May 2019 at 12:57

Funding for sustainable Open Access
(incl. SCOSS)

Our members

Our publisher members

Our sponsors

Our volunteers



SUPPORT DOAJ

(出典: <https://doaj.org/>)

DOAJ サイト(検索ページ)

DOAJ DIRECTORY OF OPEN ACCESS JOURNALS

SUPPORT DOAJ

Search Browse Subjects Apply News About For Publishers API

share | embed x 10 ↓ order by ... relevance Country of publisher Japan

Japanで検索
31ジャーナル
収録中(2019/5
月末時点

1 - 10 of 31

- Journals vs Articles
- Journals x
- + Subject
- + Article processing charges (APCs)
- + DOAJ Seal
- Journal license
 - 10 count ↓ OR
 - CC BY (12)
 - Publisher's own license (9)
 - CC BY-NC-ND (5)
 - CC BY-NC (4)
 - CC BY-NC-SA (1)
- + Publisher
- + Country of publisher
- + Full Text language
- + Peer review
- + Date added to DOAJ

日本の31ジャーナル
のCCライセンス内訳

DOAJ収録誌全体の内訳
CCライセンス(97%)

- CC BY (41%)
- CC BY-SA (6%)
- CCBY-ND (1%)
- CC BY-NC (19%)
- CC BY-NC-SA (8%)
- CC BY-NC-ND (19%)

Publisher's own license (3%)

Antarctic Record
Nankyoku Shiryo
ISSN: 0085-7289 (Print); 2432-079X (Online)
http://www.nipr.ac.jp/library/en/ar/index.html
Blind peer review
Subject: Geogr
Date added to
Record Last Up

Science Post
ISSN: 2187-983
http://www.spp-j
Blind peer review
Subject: Geograph
Date added to DOAJ: 16 Apr 2015

IAFOR Journal of Cultural Studies
ISSN: 2187-4905 (Online)
http://ijcs.iafor.org
Double blind peer review
Subject: Geography, Anthropology, Recreation, Anthropology, Ethnology, Social and cultural anthropology
Date added to DOAJ: 16 Jan 2018
Record Last Updated: 20 Mar 2018

Accepted after March
2014
2014年の再申請プロ
ジェクトでより厳しい新
しい選定基準で採択
されたジャーナル

(出典: https://doaj.org/)

DOAJサイト(ジャーナル紹介)

Journal of Epidemiology

0917-5040 (Print); 1349-9092 (Online)

(cc) BY



Homepage

Publisher: Japan Epidemiological Association
Society/Institution: Japan Epidemiological Association
Country of publisher: Japan
Platform/Host/Aggregator: J-STAGE
Date added to DOAJ: 15 May 2013
Record Last Updated: 2 Jan 2017

LCC Subject Category: Medicine: Medicine (General)

Publisher's keywords: disease surveillance, preventive medicine, public health, epidemiology, nutrition
Language of fulltext: English
Full-text formats available: PDF

DOAJシール

・ベストプラクティスを忠実に守っているOAジャーナルに与えられるシール

PUBLICATION CHARGES

Article Processing Charges (APCs): **Yes.** 120000JPY
Submission Charges: **No.**
Waiver policy for charges? **Yes.**

EDITORIAL INFORMATION

[Blind peer review](#)
[Editorial Board](#)
[Aims and scope](#)
[Instructions for authors](#)
Time From Submission to Publication: 32 weeks

学会ジャーナルサイトにリンク

[More](#)

Tables of Contents

share | embed 100 order by ... relevance

+ Volume

+ Year

1 - 100 of 335

[Association Between Urinary Phthalates and Pubertal Timing in Chinese Adolescents](#)
Huijing Shi, Yang Cao, Qing Shen, Yan Zhao, Zhe Zhang, Yunhui Zhang
Journal of Epidemiology. 2015;25(9):574-582 DOI 10.2188/jea.JE20140205
[Abstract](#) | [Full Text](#)

[A Cross-Sectional Study on Socioeconomic Systems Supporting Outpatients With Parkinson's Disease in Japan](#)
Aiko Matsushima
Journal of Epidemiology. 2016;26(4):185-190 DOI 10.2188/jea.JE20150081
[Abstract](#) | [Full Text](#)

・当該ジャーナルの記事
・全文は、公開サイトまたは全文PDFにリンク

(出典: <https://doaj.org/>)

DOAJ収録申請に求められる基本要件

1. 無料で入手可能かつ即時公開で、フルOA(ゴールド)ジャーナルであること
2. CCライセンスまたは同等のライセンスを明記すること
3. ジャーナルのWebサイトが機能していること
 - ・ジャーナル専用のWebサイトをもつこと
 - ・DOAJサイトから直接ジャーナルサイトにリンクできること
 - ・Aims & Scope、投稿規定、編集委員会、ライセンス条件が同じWebサイトで公開されリンクできること
 - ・明確で簡潔、見つけ易い、使い易いこと(1カ所にまとめる)
4. 編集委員会のページには編集委員の名前、所属機関の最新情報を明示すること
5. 査読方法を投稿規定等に明記すること
6. 論文掲載料(APC)、論文投稿料など課金情報を明記すること

上記基本要件に加えて

「学術出版における透明性とベストプラクティスの原則」(次頁)を遵守していること

この原則は、出版倫理委員会(COPE)、OA学術出版社協会(OASPA)、医学編集者世界協会(WAME)の会員申請の審査基準として利用され、DOAJも共著

(出典: <https://doaj.org/bestpractice>)

学術出版における透明性とベストプラクティスの原則

1. ウェブサイト

高い倫理性と専門性を有していること

2. ジャーナル名

一意性があり、他ジャーナルと混同されにくいこと

3. ピアレビュープロセス

ピアレビュープロセスやポリシーをWebサイトに明記すること

4. 所有権とマネジメント

ジャーナルの所有権者をWebサイトに明記すること

5. 運営組織

対象分野の専門家からなる編集委員会を有しWebサイト明記すること

6. 編集体制/連絡体制

編集者氏名や編集事務所の所在地を含む連絡先情報をWebサイトに明記すること

7. 著作権とライセンス

著作権方針とライセンス情報を著者ガイドラインに明記しWebサイトで公開すること、著作権者を全ての記事に明記すること(PDFおよびHTML)

8. 著者費用

原稿提出前に容易にわかるようにWebサイトに明記すること

9. 研究不正時の申立と対処

研究不正防止と発生時の合理的措置をWebサイトに明記すること

10. 出版倫理

出版倫理方針をWebサイトに明記すること

11. 出版スケジュール

ジャーナルの出版周期を明記すること

12. アクセス

ジャーナルと記事へのアクセス方法を明記すること

13. アーカイブ

ジャーナルが公開されなくなった場合の保存とバックアップ計画を明記すること

※J-STAGE経由でPorticoにアーカイブ可能

14. 収入源

収入源をWebサイトに明記すること

15. 広告

広告が編集上の意思決定に関連せず、コンテンツと区別されていること

16. ダイレクト・マーケティング

原稿勧誘を含むダイレクト・マーケティング活動が適切に行われ、提供する情報が読者や著者の誤解を招くものでないこと

(出典: <https://doaj.org/bestpractice>)

DOAJ収録の申請

1. 申請の前に

- ① 前述のDOAJ収録の6つの基本要件を満たしているか
- ② ジャーナルが「**学術出版における透明性とベストプラクティスの原則**」に従っているか
- ③ 「**ジャーナル収録申請フォーム記入の手引き(JST翻訳版)** (<https://doaj.org/translated>)を参考に、収録申請に必要な情報を事前に準備すること

2. 申請と審査

① 以下の申請フォームにてオンラインで申請

申請フォーム: <https://doaj.org/application/new>

- ・ 申請フォームの内容はジャーナルサイト上の情報と一致していること
- ・ 情報が不正確、回答欄に空欄がある場合は、自動的に却下

※ 申請書が却下された場合は、**通常6ヶ月間は再申請が不可**

② 審査期間

- ・ 編集委員長、編集者、共同編集者で審査を実施、**6ヶ月以内に審査終了**

※ 申請に関する詳細は「出版社向け情報 (<https://doaj.org/publishers>)」をご参照ください

ご静聴有り難うございました